

学校だより はなみずき

太田市立藪塚本町南小学校

平成27年11月2日(月)

第10号

10月はおおむらさとしはじめにノーベル生理学・医学賞を北里大学特別荣誉教授の大村智教授が受賞し、続いて物理学賞を東京大学宇宙線研究所所長兼同研究所附属宇宙ニュートリノ観測情報融合センター長等の梶田隆章教授が受賞しました。受賞した理由は、大村教授が「線虫による感染症に対する新規治療法の発見」であり、梶田教授が「素粒子の一種ニュートリノが質量をもつことを示すニュートリノ振動を発見」したことです。もう少し具体的にいうと、大村教授は土の中にいる放線菌という細菌(微生物)から寄生虫を駆除する「エバーメクチン」を発見し、それを元に企業と合同で抗寄生虫薬「イベルメクチン」を開発しました。その薬は、熱帯地方で特有の病気である失明や視覚障害を引き起こす「オンコセルカ症」や皮膚などが肥大化して硬くなる「リンパ系フィラリア症」、ダニが原因の「疥癬」などの特效薬として普及しています。身近なところでは犬の寄生虫病である「フィラリア」の予防薬として処方された経験がある人もいます。イベルメクチンの服用により年間約3億人の人たちが救われているとの功績で受賞に至ったわけです。ちなみに生理学・医学賞は3年前にIPS細胞で有名な山中伸弥博士以来で、日本人で3人目になります。



一方、梶田教授は2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士の助手として東大理学部附属素粒子物理国際研究センターで素粒子ニュートリノの研究を重ね、今から17年ほど前にそれまで質量(重さ)が無いと考えられていた素粒子に質量があることを発見しました。光とほぼ同じ速さでこの世界を飛びまわる1秒間に1兆個もの私たちの体を貫通しているらしい小さな素粒子に、質量があることを実感することはありません。しかし、世界で初めてこの素粒子に質量があることを証明したことで受賞の対象になったわけです。

分野は違えど、二人が同時にノーベル賞を受賞したことに日本中が驚きと尊敬の念を抱きました。今までだれも成し得なかった発見や開発は受賞に値する素晴らしい成果だと思います。しかし、それ以上に二人の生き方や考え方に学ぶべき点があるように感じます。まず一つ目は、二人とも決して順風満帆にこれまでの人生を歩んできたのではなく、**挫折や苦難を乗り越えたこと**です。大村教授は大学を卒業後、理科の教諭を志しましたが地元山梨での採用がなかったため、東京都立の定時制高校の教員となりました。しかし、物理や化学の授業で教鞭を執りながら熱心に学ぶ生徒に感化され、自身も昼間は大学院で学びながら修士課程を修了しました。並大抵の努力ではなかなかできるものではありません。その後、いくつかの大学や北里研究所等で実績を積み上げ今回の偉業につながったわけです。梶田教授は、埼玉県東松山市の出身で小・中学生の時は成績がトップクラスでしたが、進学した高校では中程度の成績で、大学も京都大学を受験するものの合格せず、地元の大学に入学しました。しかし、入学後は物理学の研究に本腰を入れ、その後東京大学大学院に進み小柴昌俊研究室に入りました。研究室では宇宙線研究に従事し、長年の研究を重ねた末に素粒子ニュートリノに質量があることを証明する「ニュートリノ振動」という現象を初めてとらえました。

二つ目は、二人とも受賞した荣誉を**周囲の人や環境等に感謝する姿勢があること**です。それは大村教授が記者会見で「微生物の力を借りて、何か役にたつことができないか考えながら仕事をしてきた。私がこの賞をもらっていいのかなという感じだ」と喜びを語ったことから、その人柄を感じ取ることができます。梶田教授も同様に「ニュートリノ研究というのは、一人でできるようなものではなく、スーパーカミオカンデですと100人を超えるチームが一つの目標に向かって、成果を出していくようなプロジェクト。ノーベル賞には、私の名前を出していただきましたが、スーパーカミオカンデ、そしてカミオカンデ研究グループが認められたことだと思う。」とグループ全体の荣誉だとの考えを述べていました。

人類に貢献し、大きな成果をあげた人物というのは上記のように自分のこだわりや目標にとことん取り組み、人間的にも謙虚さや感謝の気持ちを兼ね備えた幅の広さを持っているように思います。みなさんもノーベル賞受賞とまではいかないまでも、二人の生き方や考え方を、これからの人生を歩む参考にぜひしてほしいと思います。

5年生が稲刈りを行いました

10月5日（月）に5年生が稲刈りを行いました。この稲は6月に田植えをしたものですが、8月中旬から天候不順が続く順調に生長しているか心配されました。しかし、その心配も杞憂に終わり、ほぼ例年通りに育っていました。開会行事には市長さんや教育長さんらにも来ていただき、挨拶をいただきました。また、たくさんの方々の協力に支えられながら実施できる行事であり、大変貴重な体験であることをあらためて感じられました。子どもたちによる稲刈りは、最初多少の戸惑いが見られましたが、すぐに慣れた様子で意欲的に鎌で稲を刈っていました。

収穫した稲は、19日の給食「やぶづか給食の日」で試食でき大変おいしいと好評でした。さらに収穫した白米は、藪塚地域の年配の方々に配布されるとのことです。



情報モラル講習会実施

10月9日（金）の5校時目に4～6年を対象とした情報モラル講習会を実施しました。今年度は、群馬県警察本部 生活安全部 生活安全企画課 サイバー犯罪捜査室の警察官の方にお越し頂き、携帯やスマホ、パソコン等による最近の犯罪事例や危険性などについて映像を効果的に取り入れ、分かりやすくお話しをいただきました。時折、子どもたちへの質問がありましたが、元気よく答えることができ、全員真剣な表情で聞き入っていました。

保護者の皆様にも、お子さんの携帯やスマホ、パソコン機能を持った機器等の使用に関しての約束やフィリタリングなどのセキュリティへの配慮をぜひお願いいたします。



表彰関係

○小学校陸上大会 10/14（本校からは32名の児童が参加し、全力を尽くしました！）

5年：〇〇 〇〇 5年100m：15" 34 第2位 ※県大会出場

6年：〇〇 〇〇 ソフトボール投げ：58m98cm 第4位 ※県大会出場



開会式での男子リレー優勝旗返還



11月の主な予定

- | | |
|--|----------------------------------|
| 11月3日（火）文化の日 | 18日（水）5年スバル工場見学 |
| 4日（水）ふれあい音楽鑑賞会 11:00~ | 19日（木）新体力テスト① |
| 5日（木）委員会活動⑧ | 20日（金）読み聞かせ（中学年）
新体力テスト② |
| 7日（土）PTA活動芋煮会 10:00~ | 21日（土）更正保護女性会
（公開ケース研究会）中央公民館 |
| 9日（月）職員会議 | 22日（日）ユネスコ作品展~23日（月）
（学文センター） |
| 10日（火）児童集会⑥（音楽集会） | 23日（月）祝日（勤労感謝の日） |
| 11日（水）スクールバス下校時運休 | 24日（火）全校集会 |
| 12日（木）4年小中音楽発表会（午後）
クラブ活動⑬
スクールバス下校時運休 | 25日（水）学校公開日 学校評議員会 |
| 16日（月）全校集会（人権講話）
人権集中学習~20日 | 27日（金）読み聞かせ（低学年） |
| 17日（火）ふれあい活動 持久走大会 | |